

色彩（建築物の屋根と外壁の推奨色）について

～国分寺市景観まちづくりヒント集補足資料～

1.マンセル表色系とは

景観の検討において色を表現する手法として、「マンセル表色系」を用いる場合が多く見られます。

マンセル表色系では、色彩を「色相」、「明度」、「彩度」の3つの属性の組み合わせで表現します。

色相 (Hue)

色相とは色合いを表します。色相は、赤(R)、黄赤(YR)、黄(Y)、黄緑(GY)、緑(G)、青緑(BG)、青(B)、青紫(PB)、紫(P)、赤紫(RP)の10種の基本色で構成します。また、色が赤(R)から黄赤(YR)へ変化するグラデーションを等分して、赤の基本色を示す記号(R)の前に0から10の数字を付けて、それぞれの色相を細かく表記します。なお、0Rは10RPと同じ色を示し、10Rは0YRと同じ色を示します。

(0R(=10RP) 1R 2R 3R 4R 5R 6R
7R 8R 9R 10R(=0YR))。

明度 (Value)

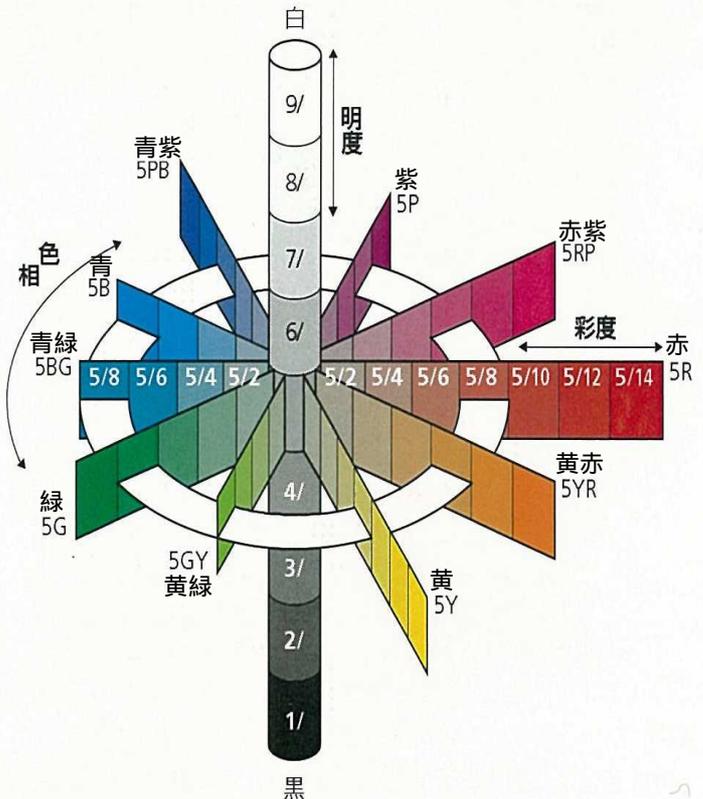
明度とは色の明るさを表します。

色の明るさを最低明度である黒の0から、最高明度である白の10までの数値で表します。暗い色ほど数値が小さく、明るい色ほど数値が大きくなります。

彩度 (Chroma)

彩度とは色の鮮やかさを表します。

色の鮮やかさを白、灰、黒色の無彩色を示す0から数値で表し、鮮やかな色になれば数値が大きくなります。なお、表現できる最高彩度は色によって限界があるため、色相ごとの彩度における最高尺度は異なります。色味のない鈍い色ほど数値が小さくなり、一方、鮮やかな色になれば数値が大きくなります。

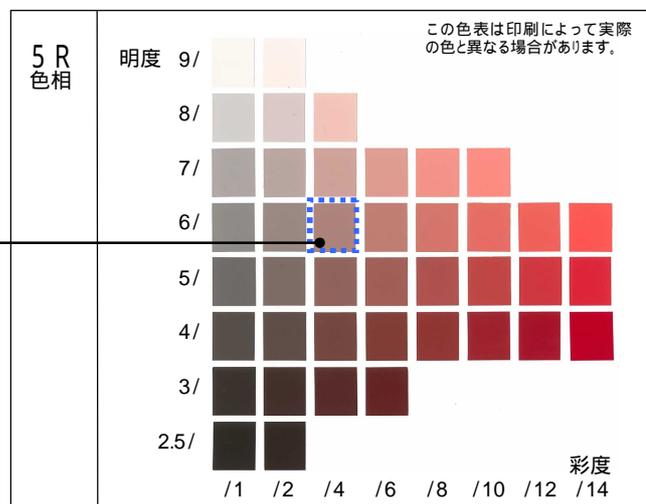


2.マンセル記号の見方

マンセル記号は、「色相(H) 明度(V) / 彩度(C)」の順に書き表し、例えば、「5R6 / 4」は、「5アール6の4」と読みます。

なお、彩度が0、明度が9のほぼ白色に近い無彩色は、「N9.0」と表し、「エヌ9の0」と読みます。

ごアール 5 R 6 / 4 よん
色相 明度 彩度



3. 建築物の外壁と屋根に対する推奨色 この色表は印刷によって実際の色と異なる場合があります。

建築物の外壁と屋根に対する推奨色を以下に示します。

暮らしの区域・にぎわいの区域

推奨色

色相	明度	彩度
OR~5Y	基準なし	6以下
その他		2以下

右図の赤線枠で囲まれた範囲の色彩が推奨色。

0R

5R

10R

5YR

10YR

5Y

5G

5B

5P

崖線の区域

推奨色

色相	明度	彩度
OR~5Y	基準なし	6以下
その他		2以下

右図の赤線枠で囲まれた範囲の色彩が推奨色。

色相	明度	彩度
OR~5Y	6以下	4以下
その他		2以下

右図の青線枠で囲まれた範囲の色彩が推奨色。

0R

5R

10R

5YR

10YR

5Y

5G

5B

5P

上記の推奨色は、市内の建築物に対する色彩調査を行うとともに、他都市で運用されている色彩基準を参考にして設定しています。